

NEWS RELEASE



株式会社アマダ
〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田 200
TEL:0463-96-3105 FAX:0463-94-9781
URL: <http://www.amada.co.jp>

JIMTOF 最先端のデジタル板金工場を映像展示 8年ぶりの出展 実機はバンドソーとプレス

アマダ（社長 岡本 満夫）は、11月1日から東京・有明のビッグサイトで開かれる第23回日本国際工作機械見本市（JIMTOF2006）に最先端のデジタル板金工場の映像展示を行うほか、デジタルで高度化されたバンドソーとデジタル電動サーボプレスを出展、実演展示する。当社の出展は8年振りのことで、8年の間に進化した板金加工機械の最新技術を広くアピールしていく。

今回のブーステーマは“デジタル宣言”。一段とデジタル化の進む板金加工機械を反映したテーマで、映像と実機を用いて最新のテクノロジーを披露する。

ブースは「E1045」。広さは270平方メートルで、ブース中央に映像ホールを設け、伊勢原市の本社展示場で“デジタル宣言”のテーマのもと開催している VPSS@Factory Fair を、映像でみせる。この Fair では高密度高付加価値の都市型工場「URBAN」、製品1個流しなど時代の要求に適応させた「FLEX」、一貫自動化生産を可能にする「GRANDE」の3つのデジタル板金工場を建設、次世代に向けた理想の板金加工工場として提示している。いわば工場の丸ごと提案というユニークな試みで、来場者の関心も非常に高い。この3つの工場モデルを通し、アマダの提唱するデジタル化でどのように生産現場の効率が向上するのかを、プレゼンテーション形式でご案内する。

ブース中央の映像ホールの左サイドにパルスカッティング技術を搭載したバンドソー「PCSAW-700」を、右サイドにデジタル電動サーボプレス「SDE-2025」と「SDE-1522」を展示、板金加工機械以外の切削、プレス機分野におけるデジタル化の進展状況を実演でみせる。

「PCSAW-700」はグループ会社のアマダカutting（社長 藤田 雄二）の製品。パルス振動を与えることで、びびり振動と騒音を抑え、ブレードの寿命と切断能力を2倍に高めた画期的なマシン。

一方のデジタル電動サーボプレスは同じくグループ会社のアマダプレステック（社長 堀江 喜美雄）が開発、商品化したもの。業界で初めて低周波パルス成形技術を採用、絞り加工、張り出し成形に威力を発揮する。加圧能力は「SDE-2025」が2,000kN、「SDE-1522」が1,500kN。

両機種とも当社の成長商品として期待されており、JIMTOF を契機にさらなる拡販に取り組む。

本件に関するお問い合わせ先
（株）アマダ 社長室広報グループ
電話0463-96-3105
（ダイヤルイン）